

## 口演6 地域で包括的に取り組むCKD予防「はんだ『守ろう！腎臓』プロジェクト」の開始について

○木村 智恵子、竹内 奈津美、山本 輝竜（半田市福祉部健康課）

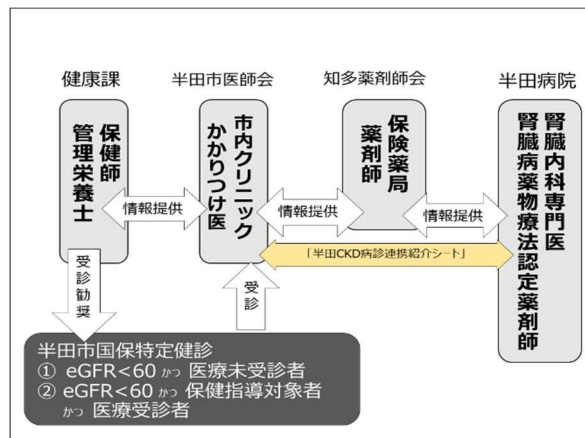
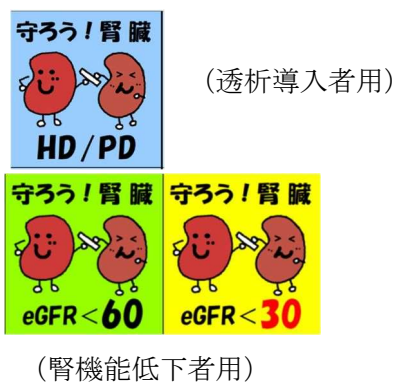
本市では、国保特定健診においては5人に1人は慢性腎臓病（以下、CKD）が疑われ、その死亡率は高い。また、心疾患の死亡率が高いこと、糖尿病有病者が多く透析患者数の増加傾向は本市の健康課題である。そこで今年度から、半田市医師会、知多薬剤師会、半田市立半田病院、半田市の4者（以下、4者）が連携し、「はんだ『守ろう！腎臓』プロジェクト」を発足し、慢性腎臓病予防（以下、CKD予防）の強化を図り、健康寿命の延伸を目指す。今回はその取り組みの一部について報告する。

### 1 目的

4者の連携によるCKD予防の一元化と推進を目的とする。

### 2 方法

令和5年度の取り組みとして、4者が共通で使用するPRキャラクター「じんちゃん」と腎機能別の「腎臓シール（3色）」（以下、シール）の使用を決定した。eGFR60未満を対象に、市内診療所・保険薬局・半田市立半田病院・半田市健康課から、シールとおくすり手帳への貼付方法や日常生活の注意点を示したリーフレットを配布する。これらにより腎機能の低下を「見える化」し、自覚を促しCKD予防の啓発を行う。また、医療機関にておくすり手帳のシールを確認した際は、腎機能に配慮した処方等を行うとともに、薬剤師は腎機能に応じた用量調節がされているか、腎排泄型・腎毒性薬剤を確認する。シールは知多薬剤師会、半田市立半田病院、半田市が各々作成することで、加入する保険や事業の対象者に限ることなく、全ての腎機能低下者を対象としてCKD予防を進めることができる。



### 3 結果

本プロジェクトは薬業連携や行政との情報交換から始まり、製薬会社等の協力、半田市医師会内科医会によるCKD対策の多職種研修が開催される中、4者でCKD予防の重要性について合意形成しプロジェクトへと発展した。なお、シールやリーフレットの配布は9月から開始したところであるため、今後、その効果や課題を整理する予定である。

### 4 今後の方向性

市民に向けて講演会や広報による普及を進める。また、4者での協議の継続やCKD予防のケアパス作成の検討を予定している。今後は、糖尿病性腎症（DKD）や心血管疾患（CVD）も踏まえ、一元化したCKD予防を地域で包括的に進めたい。